観光セミナー

アフターコロナに向けた今後の観光のあり方と観光ＤＭＯの役割

受講無料

定員 100名

日時 2022年 1月25日(火) 15:00～17:30

会場 伝国の杜 大会議室
米沢市丸の内 1-2-1

第1部 地方における観光ＤＭＯの役割

時間 15:00～16:30

講師 株式会社八幡平ＤＭＯ 代表取締役 畑 めい子氏

第2部 パネルディスカッション

時間 16:30～17:30

パネリスト

- 株式会社八幡平ＤＭＯ 代表取締役 畑 めい子氏
- 株式会社ジャーマン・インターナショナル ルース・マリー・ジャーマン氏
- 人材育成アカデミーローズレーン 代表／里山ソムリエ 黒田 三佳氏
- Daizy café オーナー 植松 美穂氏
- 大平温泉滝見屋 若女将 安部 里美氏

ファシリテーター 株式会社ライフブリッジ 代表取締役 櫻井 亮太郎氏

予約方法 要予約
電話、メール、FAX（裏面の申込用紙記入）

申込締め切り 1月21日（金）必着

【ご参加される皆さまへ】

必ずマスクを着用されてご参加くださいます様、お願い致します。また、発熱や風邪等の症状がある方、体調の悪い方のご参加はお控えください。
セミナー実施に当たりましては、会場の換気・ソーシャルディスタンスに配慮した配席・消毒用アルコールの設置・講師と運営側の手洗いとマスク着用の徹底等、新型コロナウィルス感染予防に努めて参ります。また、開催日までの状況変化により、中止または延期とさせて頂く事もありますので、ご了承願います。

お申込・お問い合わせ

一般社団法人米沢観光コンベンション協会
〒992-0052 山形県米沢市丸の内 1-4-13
TEL／0238-21-6226 FAX／0238-22-2042
Mail／info@yonezawa.info

詳しくは裏面へ

主催 一般社団法人 米沢観光コンベンション協会
共催 米沢トリップアラウンド推進協議会 米沢市観光キャンペーン推進協議会

米沢市版ＤＭＯの設立に向けて

DMOの取組は、国の観光振興施策の柱として位置付けられており、米沢市においても、
アフターコロナを見据え、(仮称)米沢市版DMOの設立に向けて取り組み、地域の観光振興推進において
主導的な役割を担い、関係事業者、関係団体一丸となり、オール米沢で協力する体制の構築を図ってまいります。
そこで、第1部では先進地である株式会社八幡平DMO畑めい子氏を講師に迎え八幡平DMOの取り組みや、
地域においての役割、必要性などについてご講演いただきます。
第2部では、櫻井亮太郎氏をファシリテータとして、
全国で活躍する女性メンバーによる今後の観光についてパネルディスカッションしていただきます。
ぜひご参加ください。

観光地域づくり法人（DMO）とは？

観光地域づくり法人は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する
「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、
明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、
戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。
Destination Management Organization
（デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション）の頭文字の略。

プロフィール

株式会社八幡平ＤＭＯ 代表取締役
畑 めい子氏

コピーライター・編集者として、岩手県内のテレビ、ラジオ、新聞、情報誌、観光パンフレット等の広告制作に携わる。2012年、岩手県政広報誌「いわてグラフ」編集長。八幡平市観光公式パンフレット「はちたび」プロデュースのほか、広域連携観光振興企画の実施、地元企業のブランド戦略サポート等、地域に密着した情報発信を通じて、地域活性化に寄与。
2015年　株式会社クレセント創業（取締役副社長）2018年5月、株式会社八幡平DMO創業（代表取締役CEO）。
地域の観光事業者のきめ細かいヒアリング、合意形成を通じて、各種観光振興計画を提案、実施。八幡平ファームステイ協議会会長、八幡平観光地域づくり協議会会長

Daizy café オーナー
植松 美穂氏

米沢市出身。米沢東高校を卒業後、カナダに留学しCICカナダ国際大学を卒業。東京のアパレルブランドで３年間働いたのち米沢にUターン。旅行代理店での勤務を経て、2006年にDaizy Cafeを創業。2019年に日本庭園・お茶室などがある古民家を活用した民泊Guest House Hatayaをオープン。
地元の高校生も古民家再生に参加し、米沢在住の外国人や留学生・ホームステイに来た外国人などを巻き込んで、交流できる場所づくりを行っている。
現在16年目を迎えるDaizyCafeでも地元密着型の営業をし、野菜ソムリエの資格も生かしながら地元農家さんとタッグを組んでのイベントや音楽イベントも開催し、移住者や地元民との交流も盛んに行っている。
2019年　米沢商工会議所青年部会長
米沢まちの駅運営協議会会長

株式会社ジャーマン・インターナショナル
ルース･マリー･ジャーマン氏

米国ノースカロライナ州生まれハワイ州育ち。1988年にボストンのタフツ大学国際関係学部を卒業後、リクルートに入社し、以来33年間日本に滞在。1992年から個人事業主として翻訳と通訳のキャリアを構築し、2000年から株式会社スペースデザインに在籍。東京・横浜・ドバイにて、新規事業の来日外国人向けの家具付きサービスアパートメントの開発・運営業務に携わる。2000年から2012年までの間、営業本部長として、約４万人の訪日外国人プロフェッショナルと接し、現場で情報発信と販売促進策の経験を多く積む。その際、初来日される外国人の様々な目線を分析したことが現在のインバウンドコンサルティングの基盤となっている。
2012年4月に、株式会社ジャーマン・インターナショナルを創業。日本のグローバル化のサポートとインターナショナルマーケティング／インバウンド向けのプロモーション、企業や自治体向けに外国人の顧客創造と外国人顧客への営業戦略のコンサルティングを行う。

大平温泉滝見屋 若女将
安部 里美氏

米沢市出身。今年113年目を迎える、歩いてたどり着く最上川源流の隠れ宿大平温泉滝見屋　若女将。雪のため営業できない宿の冬季休業期間を生かし、2007年より冬期は単身で台湾へ。リゾートホテルのサービス向上や日本ゲストのための商品開発等に関わってきた。2015年からは台湾で発売中の日本文化紹介刊行雑誌「秋刀魚」(2017年台湾文化省による受賞)内で、（一社）日本秘湯守る会×東日本旅客鉄道㈱鉄道事業本部の協力の元、JR EAST PASSを使った日本の「秘湯めぐり」を３年間連載。2019年に入り（公財）日本台湾交流協会FBページにて秘湯文化について紹介中。秘湯での生活や宿泊体験は持続可能な日本文化そのもの。「秘湯は人なり」の精神やHITOUを世界に伝えるべく挑戦と創造をしている。（一社）日本秘湯を守る会広報委員長、（一社）日本温泉協会季刊誌副編集長、温泉米沢八湯会事務局長

人材育成アカデミーローズレーン 代表／里山ソムリエ
黒田 三佳氏

人材育成アカデミーローズレーン代表（人材育成、おもてなし、教育、移住に関するセミナー、講演）里山ソムリエ®米沢市国際交流協会会長　東京都出身　日本航空国際線客室乗務員を経て、一度の旅で暮らしたい！と思わせられた米沢に家族で移住。現在、県内外でのおもてなし接遇指導、インバウンド対応の英語での接遇指導など、クライアントの意向を尊重したおもてなしを共に作り上げながらご指導されています。
南原の自宅は2000坪ほどの森と畑に囲まれた素敵な場所に暮らされて、独自で年に数回のマーケットや各種イベントも開催。毎回多くの県内外のお客様が訪れます。
里山ソムリエとして上杉スピリットを感じる里山の暮らしの粋をラジオやインターネットで国内外に発信しています。地元ラジオFMNCVおきたまＧＯ黒田三佳のSTEPSパーソナリティとして放送中
里山の古い家を改造した里山ビジョンハウスを拠点に、里山でのおもてなしや起業のお手伝いもされております。趣味は森の整備と里山のおもてなし

株式会社ライフブリッジ 代表取締役
櫻井 亮太郎氏

仙台市出身。中学卒業後に単身渡米。英国リッチモンド大学 国際 経営学科卒業。 10年間の海外生活を経て1999年に帰国。外資系金融機関での勤務後、2006年に故郷仙台で株式会社ライフブリッジを設立。カタカナを読むだけで発音が上達し、売上アップにつながる独自開発の『カタカナ接客英語・中国語・韓国語』、 地域の魅力を YouTube 動画を通じて世界に伝えるインバウンドプロモーション、外国人の目線に立った８カ国語での翻訳等、世界各国での長年の経験を生かしながら生まれ育った日本の魅力を世界へ発信し続けている。

お申込・お問い合わせ

一般社団法人米沢観光コンベンション協会
〒992-0052 山形県米沢市丸の内 1-4-13
FAX ／ 0238-22-2042
Mail ／ info@yonezawa.info

観光セミナー　参加申込書　FAX／0238-22-2042　｜　申込締め切り 1月21日（金）必着

団 体 名		参加人数	名
申込者名			
連 絡 先	TEL　　FAX　　e-mail		
備　　考			